

6 特別支援学校

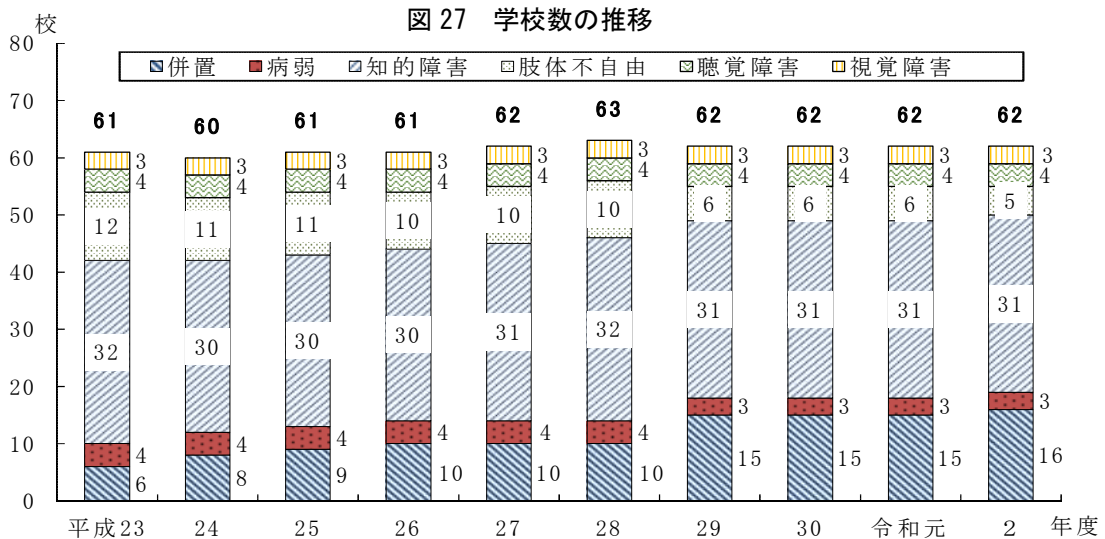
(1) 学校数

学校数は、62校（都立57校、区立5校）で、前年度と同数である。

学校数のうち障害種別を複数設置している併置校は16校（肢体不自由・知的障害併置校10校、肢体不自由・病弱併置校4校、視覚障害・知的障害併置校1校、知的障害・病弱併置校1校）となっている。

併置校以外の学校数を障害種別で見ると、視覚障害3校、聴覚障害4校、肢体不自由5校、知的障害31校、病弱3校となっている。

（Ⅲ統計表 第31表）



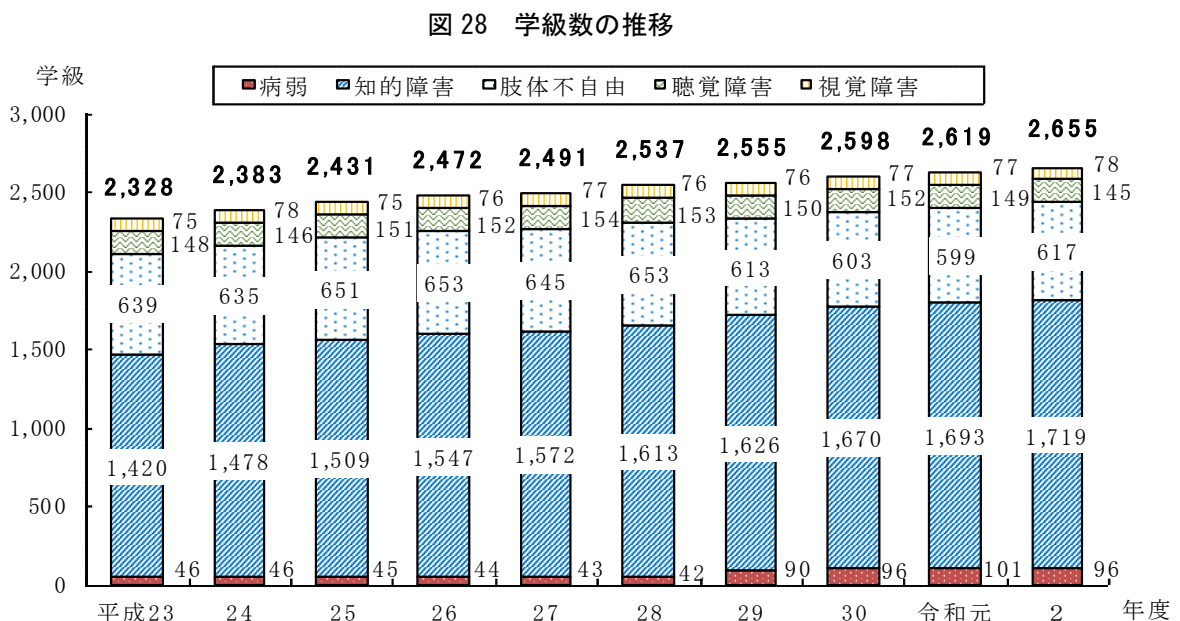
- 注1) 区立5校の障害種別は、肢体不自由1校、知的障害1校、病弱3校となっている。
 注2) 併置校は全て都立である。
 注3) 休校中の学校も含む。

(2) 学級数

学級数は2,655学級で、前年度より36学級増加している。

障害種別で見ると、視覚障害78学級、聴覚障害145学級、肢体不自由617学級（都立601学級、区立16学級）、知的障害1,719学級（都立1,688学級、区立31学級）、病弱96学級（都立85学級、区立11学級）となっている。

（Ⅲ統計表 第31表）



(3) 在学者数

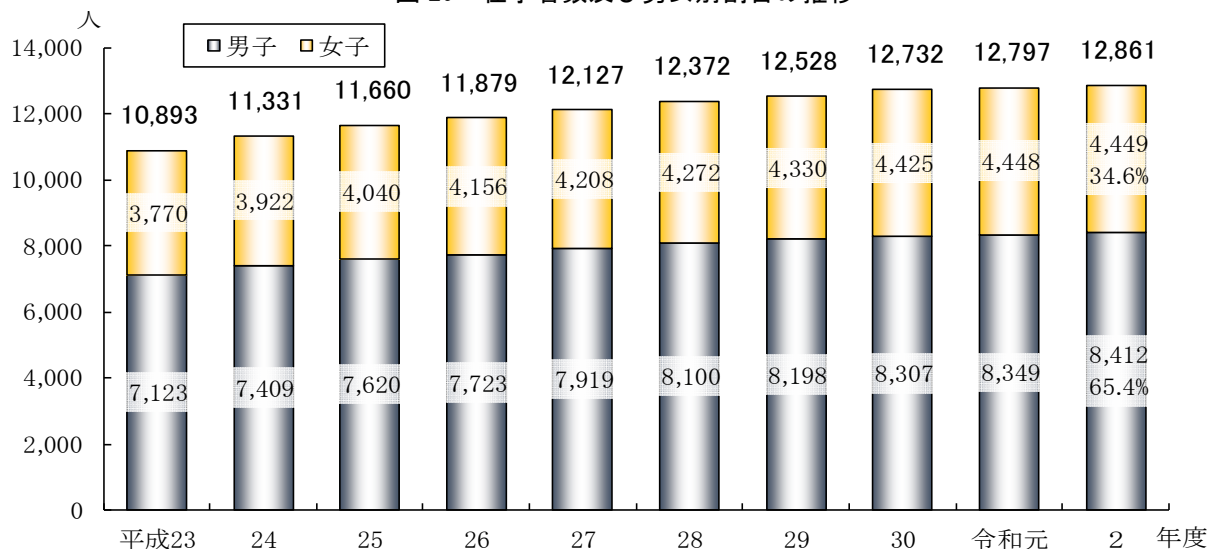
在学者数は12,861人で、前年度より64人増加している。

障害種別で見ると、視覚障害233人、聴覚障害658人、肢体不自由2,078人（都立2,033人、区立45人）、知的障害9,702人（都立9,557人、区立145人）、病弱190人（都立120人、区立70人）となっている。

男女別で見ると、男子8,412人（構成比65.4%）、女子4,449人（構成比34.6%）で、前年度と比べて、男子の構成比が0.2ポイント増加、女子の構成比が0.2ポイント減少している。

（Ⅲ統計表 第31表）

図29 在学者数及び男女別割合の推移



(4) 教員数

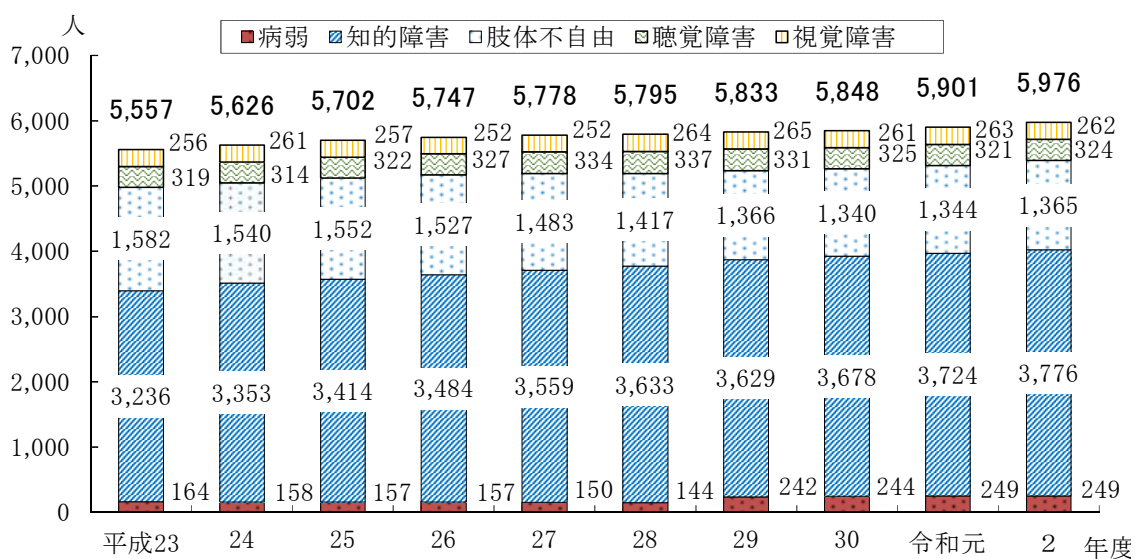
教員数は、5,976人で、前年度より75人増加している。

障害種別で見ると、視覚障害262人、聴覚障害324人、肢体不自由1,365人（都立1,327人、区立38人）、知的障害3,776人（都立3,713人、区立63人）、病弱249人（都立191人、区立58人）となっている。

男女別で見ると、男性2,360人（構成比39.5%）、女性3,616人（構成比60.5%）で、前年度と比べて、男性の構成比が0.2ポイント減少、女性の構成比が0.2ポイント増加している。

（Ⅲ統計表 第32表）

図30 教員数の推移



注) 教員数は本務者で、臨時的任用教員を含む。

(5) 職員数

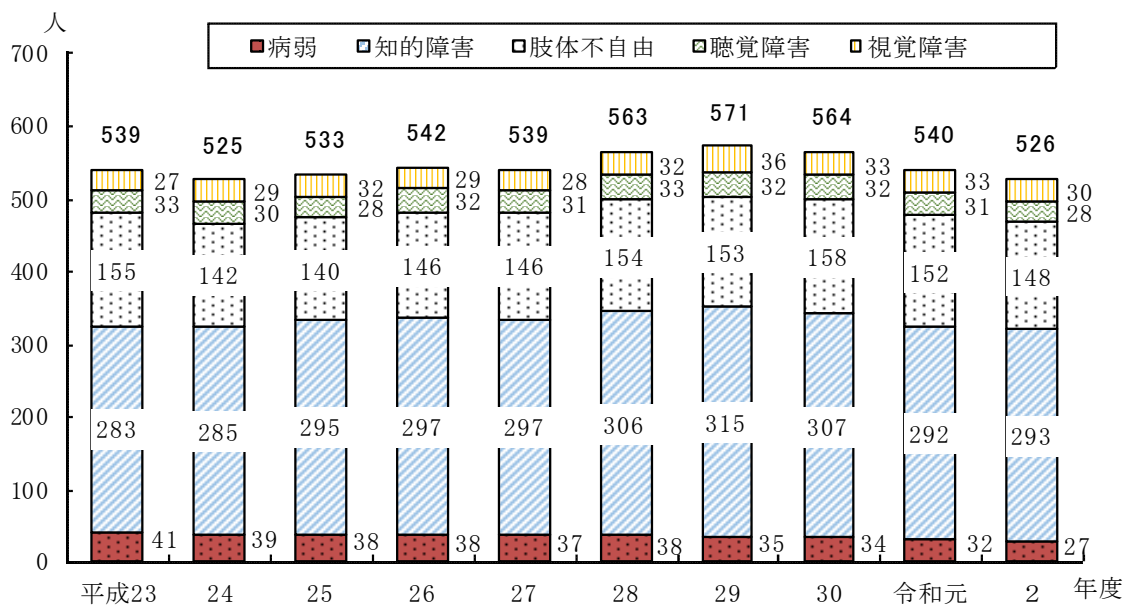
職員数は、526人で、前年度より14人減少している。

障害種別で見ると、視覚障害30人、聴覚障害28人、肢体不自由148人（都立142人、区立6人）、知的障害293人（都立286人、区立7人）、病弱27人（都立9人、区立18人）となっている。

男女別で見ると、男性247人（構成比47.0%）、女性279人（構成比53.0%）で、前年度と比べて、男性の構成比が1.1ポイント増加、女性の構成比が1.1ポイント減少している。

（Ⅲ統計表 第33表）

図31 職員数の推移



注) 職員数は本務者で、臨時的任用職員を含む。

図32 職員の職名別割合

